

ネパール経済ニュース（18年4月）ヘッドライン

経 済	
産業 エネルギー インフラ	<p>(1) 14日、ネパール中央統計局（CBS）は、ネパール全国の事業体を調査するため、経済センサスを開始した。日本政府及びJICAによる技術支援により、ネパールで初めて実施されるものであり、カティワダ財務大臣は、経済センサスは、経済政策を立案するために極めて重要である旨述べた。</p> <p>(2) 29日、マドゥスダン・アディカリ・インフラ交通省次官、アナンタ・アチャルヤ鉄道局長等から成る6名のハイレベル訪問団は、ケルン・カトマンズ間鉄道プロジェクトの協議を行うため、7日間の日程で中国を訪問した。</p>
金融 財政 税制 物価	<p>(1) 11日、アジア開発銀行は、2017/18年度の経済成長率を4.9%と予測した。</p> <p>(2) 22日、財務省によると、2017/18年度当初8ヶ月の輸出に関し、ピラトナガル税関からの輸出額が最も多く、163.34億ルピー（前年同期比15%増）であった。2番目がトリブバン国際空港の147.56億ルピー（前年同期比6%増）、3番目がビルガンジの91.22億ルピー（9.7%減）であった。</p> <p>(3) 25日、CBSは、2017/18年度の国民経済計算年次推計を発表した。これによると、CBSは、現在のネパールの人口を2,910万人と見積もり、今年度の一人当たりGDPを1,004米ドル（推計値）と予測した。また、CBSは、今年度のGDP成長率を5.89%（推計値）と予測したが、これは過去10年間で2番目に高い数値である。最も高かったのは昨年度の6.94%（改定値）である。</p>
観光 貿易 投資	<p>(1) 12日、ネパール入国管理局によると、2018年当初3ヵ月における、外国人入国者数は約217,000人であり、このうち中国人が最も多く36,384人であった。次に多かったのはインド人で34,133人だった。なお、入管がカウントしている外国人入国者数は空路のみであり、陸路からのインド人の入国者数はカウントしていない。</p> <p>(2) 17日、貿易輸出振興センターによると、2017/18年度当初8ヶ月の貿易赤字が7,140.5億ルピー（前年同期比23.1%悪化）であった。また、2017/18年度当初8ヶ月の輸出と輸入の比率は1:14.4であった。</p> <p>(3) 26日、ネパール民間航空局（CAAN）は、本年5月21日からトリブバン国際空港を21時間運用とする準備を進めている。</p> <p>(4) 26日、実験的な試みであるダッカ・カトマンズ間のバス運用が行われ、2台のバスがカトマンズに到着した。これは、2015年にネパール、インド、バングラデシュ、ブータンによって署名された車両運行に関する合意の実現に向けた動きの一つである。</p>